	平成 25 年 7 月 3 日 (2013 年)
吹田市長	を
 事業の名称	(仮称)クレヴィア桃山台 新築工事
対象事業区域	吹田市 桃山台5丁目4番2
※注1	住 所 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル
設計・代理者	株式会社IAO竹田設計 氏 名 大阪第一事務所 金峰鐘大
	電 話(06) 6532 — 8773 (担当者:)
※注1	住所
工事施工者	大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大
	電話()
 事業予定期間	平成 25 年 (2013 年) 11 月 1 日 から
7 X 1 Z X 161	平成 27 年 (2015 年) 3 月 31 日 まで
	計画部分 既存部分 合 計
	対象事業面積 3,538.63 ㎡ 3,538.63 ㎡
± * ~ 10 1#	建築面積 1,161.89 ㎡ 1,161.89 ㎡
事業の規模	延べ面積 7,511.84 _㎡ 7,511.84 _㎡ 7,511.84 _㎡
	最高の高さ 24.93 m 鉄筋コンクリート 造・一部 造
	構造・階数
	区分 ☑ 新築 □ 増築 □ 改築 □ 新設 □ 増設
	□ 土地区画整理事業 □ 市街化再開発事業
	□□宅 地 造 成 □ 開発行為事業(目的:)
	□ 建築物の新築又は増改築の事業
事業の目的・内容	□ 工場・事業場 ☑ 住宅・共同住宅(61 戸) │
	□商業施設□事務所□公共的建築物
	□ その他(:) 」
	□ 駐車場又は資材置場の新設又は増設の事業 受 付
	□ その他 ()
環境まちづくりの内容	ガイドライン取組事項チェックリストによる
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	・ガイドライン取組事項チェックリスト
│ 添 付 書 類 │	・工事関連車輌通行ルート図・・その他必要と認める図書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
Ī	I '7 씨씨중(懿어의본들

環境まちづくりの概要(1)

当社では、環境に配慮した住宅(省エネルギー技術・設計・機器等)の供給に積極的に取り組んでお ります。また、人と社会、自然環境との共生を実現し、真に価値ある企業となるために、「地球温暖 事業者の環境方針 化」「地球資源」「自然環境」を重要な環境問題テーマと設定。かけがえのない地球を守り、広く社会 に貢献するため<チャレンジ25キャンペーン>、<ボルネオ島の熱帯林再生及び生態系の保全プログラム>への参加、<グリーン電力>の積極的採用など、全社的な取り組みを進めております。

当該事業における | <mark>省エネ・エコロジーの配慮とともに、樹木や植栽に囲まれた豊かな生活環境の提供、周辺環境や街</mark> 環境まちづくり方針の景観などにも貢献します。

1. 実施率と主な実施内容

1-1. 工事中

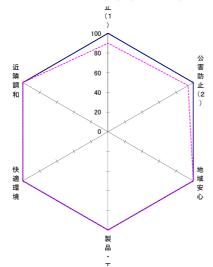
実施率 100 パーセント

(小数点第2位以下切り捨て)

実施する・一部実施するの項目数

該当なしを除いた項目数

---:方針(案), —:方針



	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
方針	20	14	4	4 3		2
針	20	14	4	3	4	2
			4	>		
	公害防止(1)	公害防止(2)	地域安心	製品·工法	快適環境	近隣調和
方 ⁽ 家	10	公害防止(2)	地域安心	製品・工法	快適環境	近隣調和
方針(案)	10					

主な実施内容

- ・空ぶかしやアイドリングを抑制するなど、環境に配慮した運転を行います。
- ・騒音・振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行います。
- ・道路などへの濁水や土砂の流出を防止します。
- ・仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンスや設置場所の配慮などにより 臭気対策を行います。 ・工事中は警備員を配置し事故防止に努めます。
- ・資材の梱包等を最小限にして廃棄物を減量します。
- ・工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行います。
- ・工事に関して連絡先等を掲示するとともに、苦情が発生した際に真摯に対応します。

環境まちづくりの概要(2)

1-2. 施設・設備等

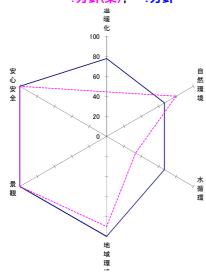
実施率 86.4 パーセント

実施する・一部実施するの項目数該当なしを除いた項目数

32 37

(小数点第2位以下切り捨て)

---:方針(案), —:方針



	地球温暖化	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方	7	4	2	11	5	3
方 針	9	6	3	11	5	3
	·					
	地球温暖化	自然環境	水循環	地域環境	景観	安心安全
方 ⁽ 針	4	4	1	9	5	3
針一	9	5	3	10	5	3

主な実施内容

(1)省エネルギー・低炭素なエネルギー技術の導入 CO2削減量 1.6 t-CO2/年

導入内容 ※(CO2換算が可能な設備に関して記載ください。)

専有部内の照明器具をLED照明とします。 また、共用部分の照明の一部にLED照明を採用するよう配慮します。

(2)緑地面積 緑化率 25.0 % 条例基準分 25.0 %以上

実施内容(緑化率に換算されない緑地(駐車場緑化・ベランダ緑化・花壇など)の面積など)

(3)雨水利用 雨水貯留量 150.0 t うち雨水利用量 0.0 t

利用目的 【□植栽水やり□トイレの流し水□洗車□その他

(4)上記以外の主な実施内容

・開口部には、複層ガラスサッシュを採用します。

環境まちづくりの概要(3)

2. 方針(案)からの変更箇所(変更箇所があれば記入してください。)

項目番号	修正前のチェック内容	修正後のチェック内容
2	実施しない	一部実施する
8	実施しない	一部実施する
21	実施しない	一部実施する
27	実施する	該当なし
28	実施する	該当なし
36	実施する	該当なし
63	実施しない	一部実施する
64	実施しない	一部実施する
69	実施しない	一部実施する
75	実施しない	一部実施する
77	該当なし	一部実施する
82	実施しない	一部実施する

3. その他	3. その他(本ガイドライン記載の取組事項以外に実施する環境まちづくりの取組を記載ください。)					

●工事中におけるガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、事業による環境への影響を最小限にとどめるため、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、以下のとおりガイドライン 取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
大気汚	会学や経音などの公害の防止します。		
建設機	養械	, 	
1	排出ガス対策型、低騒音型や低振動型の建設 機械を使用します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	排出ガス対策型、低騒音型、低振動型の建設機械を使用します。
2	低燃費型の建設機械(ハイブリッド式パワー ショベルなど)を使用します。		低燃費型の建設機械(ハイブリッド式パワーショベル等)の使用について、工事施工計画作成時に前向きに検討します。
3	排出ガスの低減を図るため、アイドリングをし ません。		空ぶかしやアイドリングを抑制するなど、環境に配慮した運転を行います。
4	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転 を行います。		空ぶかしやアイドリングを抑制するなど、環境に配慮した運転を行います。
5	工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、 稼働台数を抑制します。		工事規模に応じた効率的な工事計画を立て、稼働台数を抑制します。
6	一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準 化を図ります。		一時的に集中して稼働しないよう、工事の平準化を図ります。
7	機械類は適切に整備点検を行います。		機械類は適切に整備点検を行います。
工事関	関連車両		
8	燃費や排出ガス性能のよい車両を使用します。	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	燃費や排出ガス性能のよい車両の使用について、工事施工計画作成 時に前向きに検討します。
9	大阪府条例に基づく流入車規制を、全ての車両で確実に遵守します。	□ 実施しない □ 該当なし	大阪府条例(大阪府生活環境の保全等に関する条例)に基づく流入車 規制を、全ての車両で確実に遵守します。
10	工事関連車両であることを車両に表示します。	☑ 実施する □ 一部実施する	工事関連車両であることを車両に表示します。
11	工事関連車両の走行ルートや時間帯は、周辺 道路の状況、住居の立地状況などに配慮し て、一般交通の集中時間帯や通学時間帯を避 けて設定します。	□ 実施しない □ 該当なし	計画地周辺における工事関連大型車両の運行については、 工事施工計画時にできる限り前向きに検討致します。
12	建設資材の搬出入計画において、適切な車種 を選定することで車両台数を抑制します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	建設資材の搬出入計画において、適切な車種を選定することで車両台数を抑制します。
13	作業従事者の通勤、現場監理などには、徒歩、二輪車、公共交通機関の利用、相乗りなどを奨励し、工事関連の車両台数を抑制します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	作業従事者の通勤、現場監理等には、徒歩や二輪車、公共交通機関 の利用又は相乗りを奨励し、工事関連の車両台数を抑制します。
14	ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音、振動や土砂の飛散防止に配慮します。		ダンプトラックによる土砂の積み降ろしの際には、騒音及び振動に配慮 します。
15	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、現 地でタイヤ洗浄を行います。	図 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	周辺への土砂粉じん飛散を防止するため、施工計画において検討し 対応します。

	取組事項		実 施 内 容 実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
16	コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際に は、騒音や水質汚濁に配慮します。		コンクリートミキサー車のドラム洗浄を行う際には、騒音及び水質汚濁 こ配慮します。
17	工事関連車両を場外に待機させません。	☑ 実施する □ 一部実施する □□ 実施しない □ 該当なし	工事関連車両を場外に待機させません。
18	クラクションの使用は必要最小限にします。	☑ 実施する □ 一部実施する /2 □ 実施しない □ 該当なし	フラクションの使用は必要最小限にします。
19	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしません。	図 実施する □ 一部実施する [E□ 実施しない □ 該当なし	自動車排出ガスの低減を図るため、アイドリングをしません。
20	空ぶかしを抑制するなど、環境に配慮した運転 を行います。	▽ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	空ぶかしやアイドリングを抑制するなど、環境に配慮した運転を行いま す。
工事方 騒音・			
21	遮音性の高い仮囲いや防音シート・防音パネルを設置します。		監音性の高い仮囲いや防音シート・防音パネルの設置について、工事 徳工計画作成時に前向きに検討します。
22	建設資材の落下を防止するなど、丁寧な作業を行います。	☑ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	書設資材の落下を防止する為、丁寧な作業を行います。
23	杭の施工などの際には、騒音や振動の少ない 工法を採用します。	□ 実施する ☑ 一部実施する = □ 実施しない □ 該当なし	エ事に関しては騒音や振動を極力発生させないようにします。
24	騒音や振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行います。	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	蚤音・振動を伴う作業は、近隣に配慮した時間帯に行います。
粉じん	・アスベスト		
25	解体、掘削作業などの際には、散水を十分に行います。	☑ 実施する □ 一部実施する ff	解体、掘削作業等の際には、散水を十分に行います。
26	土砂などの堆積場で、砂じんが飛散するおそれがある場合は、飛散防止対策をします。		±砂等が露出している場合の対応についてシートで覆う等の方法を工 事施工計画作成時に検討します。
27	建築物などの解体の際は、アスベストの使用 の有無を調査するとともに、調査結果を近隣住 民の見やすい位置に掲出し、市長にも報告し ます。	□ 実施する □ 一部実施する □ □ 実施しない ☑ 該当なし	更地の為、既存建物はありません。
28	アスベストを含有する建築物などの解体の際 には、確実な飛散防止措置を行います。	□ 実施する □ 一部実施する □ □ 実施しない ☑ 該当なし	更地の為、既存建物はありません。
水質	5濁・土壌汚染・地盤沈下		
29	道路などへの濁水や土砂の流出を防止しま す。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	直路などへの濁水や土砂の流出を防止 します。
30	塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶 や塗装器具の洗浄液は適正に処分します。		塗料などの揮発を防止し、使用済みの塗料缶や塗装器具の洗浄液は 適正に処分します。
31	土壌汚染の状況を調査し、汚染物質の拡散防止措置を行います。	☑ 実施する □ 一部実施する =□ 実施しない □ 該当なし	土壌汚染の状況を調査した結果、汚染はありませんでした。

	取組事項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
32	地盤改良の際は、土壌や地下水を汚染しない 工法を採用します。	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	地盤改良の際は、土壌や地下水を汚染しない工法を採用します。
33	周辺地盤、家屋などに影響を及ぼさない工法を採用します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	周辺地盤や家屋等に配慮した工法を採用します。
悪臭•	廃棄物		
34	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、 溶解温度管理など臭気対策を行います。	□ 実施しない □ 該当なし	アスファルトを溶融させる際は、場所の配慮、溶解温度管理など臭気対策を行います。
35	現地では廃棄物などの焼却は行いません。		現地では廃棄物等の焼却を行いません。
36	解体を伴う工事の際は、保管されているPCB 使用機器、空調機器などに使用されているフロ ン類などやその他有害廃棄物の状況を工事実 施前に調査し、環境汚染とならないよう適正な 処理を行います。		更地の為、既存建物はありません。
	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンス、設置場所の配慮などにより臭気対策を 行います。	図 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	仮設トイレを設置する場合は、適切なメンテナンスや設置場所の配慮 などにより臭気対策を行います。
地域の	安全安心に貢献します。		
38	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数の警備員を配置し事故 防止に努めます。	□ 実施しない □ 該当なし	近隣自治会などから地域の交通情報の聴き取りを行い、十分な人数 の警備員を配置し事故防止に努めます。
39	児童や生徒が安全に登下校できるよう、工事 現場周辺の交通安全に配慮します。	□ 実施しない □ 該当なし	児童・生徒が安全に登下校できるよう、工事現場周辺の交通安全に配慮します。
40	夜間や休日に工事関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を施錠するなどの対策を講じます。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	夜間・休日に関係者以外の者が工事現場に立ち入らないよう出入口を 施錠するなどの対策を講じます。
41	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取組みます。	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	登下校中や放課後の児童や生徒の見守り、声かけなどに取組みます。
42	近隣自治会などと連携し、地域の防犯活動に 参加します。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	自治会がない為、地域の防犯活動がありません。
環境に	・配慮した製品及び工法を採用します。		
省エネ	マルギー		T
43	エネルギー効率のよい機器の導入などにより、工事中に使用する燃料、電気、水道水などの消費を抑制します。	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	エネルギー効率のよい機器の導入等により、工事中使用する燃料、電 気及び水道水等の消費を抑制する等の方法を工事施工計画作成時に 検討します。
省資源	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		1
44	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制します。	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	建設発生土は現地での埋め戻しに使用するなど、残土の発生を抑制します。
45	資材の梱包などを最小限にして廃棄物を減量 します。	図 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	資材の梱包等を最小限にして廃棄物を減量します。
快適な	− □環境づくりに貢献します。		
景観			T
46	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮します。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	仮囲いの設置にあたっては、機能性を確保した上で、景観面にも配慮 するように前向きに検討します。

	取組事項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
47	仮設トイレは、近隣住民や通行者に不快感を 与えないよう、設置場所などを工夫します。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	仮設トイレは、近隣住民及び通行者に不快感を与えないよう、設置場 所等を工夫します。
周辺の			
48	工事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周 辺道路の清掃を行います。	□ 実施しない □ 該当なし	エ事現場内外を問わず、ポイ捨てを防止し、周辺道路の清掃を行います。
49	建設資材、廃棄物などの場内整理を行います。	□ 実施しない □ 該当なし	建設資材や廃棄物等の場内整理を行います。
ヒート			
50	夏期において水道水以外の用水が確保できる 場合は、周辺道路などに打ち水を行います。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	建築計画上、敷地内にてスペースが無く、雨水確保が困難である為行 いません。
地域と	 :の調和を図ります。		,
工事記	说明·苦情対応		
51	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程などを十分説明し、また工事実施も適宜、現況と今後の予定をお知らせし、理解を得るようにします。	□ 実施する □ 一部実施する	近隣住民に工事実施前に工事概要、作業工程等を十部説明し、また 工事実施中も適宜、現況と今後の予定を知らせ、理解を得るようにしま す。
52	工事に関しての苦情窓口を設置し連絡先などを掲示するとともに、苦情が発生した際には真 撃に対応します。	□ 実施しない □ 該当なし	連絡先等を掲示するとともに、苦情が発生した際に真摯に対応します。
周辺の	D教育・医療・福祉施設への配慮		
53	工事実施前に工事概要、作業工程などを十分 説明するとともに、施設での行事や利用状況 に配慮した工事計画にします。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	周辺に該当する施設がありません。
54	騒音、振動、通風、採光などに特段の配慮をします。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	周辺に該当する施設がありません。
周辺の	の事業者との調整	· ·	1
55	工事が重複することによる複合的な騒音、振動、粉じん、工事車両の通行及びその他の環境影響を最小限に抑制するため、周辺地域における大規模な工事の状況を把握し、該当する事業者、工事施行者などと連絡を取り、可能な限り工事計画などを調整するように努めます。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	周辺に該当する施設がありません。

●施設・設備等に係るガイドライン取組事項チェックリスト

本事業を実施するにあたっては、法律、条例等の規制基準を遵守することはもとより、事業による環境への影響を最小限にとどめ、また、新たな環境負荷の発生を 事前に防止するとともに、地域の環境レベル向上に貢献するため、以下のとおりガイドライン取組事項を実施します。

	取 組 事 項	実施の有無	実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
地球温			
56	大阪府建築物の環境配慮制度及び大阪府建 築物環境性能表示制度を活用します。		大阪府建築物の環境配慮制度において高い評価を得られるように努めるとともに、その結果を大阪府建築物環境性能表示制度により広告物などに表示します。
57	空調、照明、給湯、昇降機などの設備について、高効率や省エネルギー型の機器を採用します。	□ 実施しない □ 該当なし	専有部・共用部の一部においてLED照明を採用することを検討します。
58	太陽光、太陽熱、風力などの再生可能エネル ギーを活用します。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	太陽光、太陽熱、風力については、事業収支上、採用が不可能である 為、実施しません。
59	エネルギー効率の高い地域冷暖房、コージェ ネレーション、ヒートポンプシステムなどの導入 を検討します。	□ 実施する □ 一部実施する☑ 実施しない □ 該当なし	エネルギー効率の高い地域冷暖房、コージェネレーション、ヒートポンプシステムなどの導入については、事業収支上、採用が不可能である為、実施しません。
60	高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを 冷媒として使用する装置を有する設備(空調機 器、冷蔵冷凍庫など)を設置する際には、設置 後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排 出)が発生しないよう安全設計に配慮します。		高い地球温暖化係数を有する温室効果ガスを冷媒として使用する装置を有する設備(空調機器、冷蔵冷凍庫など)を設置する際には、設置後に配管などからの冷媒の漏えい(使用時排出)が発生しないよう安全設計に配慮します。
61	採光や通風性の考慮や断熱性能を向上させる ことで、建築物のエネルギー負荷を抑制しま す。		開口部には、複層ガラスサッシュを採用します。
62	基本構造の耐久性を高め、長寿命の建築物を施工します。		鉄筋コンクリート造とすることで、基本構造の耐久性を高め、長寿命の 建築物を施工します。
63	リサイクル製品、間伐材などの資源循環や環境保全に配慮した製品を積極的に採用します。		リサイクル製品・間伐材等の資源循環や環境保全に配慮した製品の 積極的な採用するよう、工事施工計画作成時に前向きに検討します。
64	高炉セメントなど、製造に要するエネルギーが 少ない建設資材などを積極的に採用します。		高炉セメント等、製造に要するエネルギーが少ない建設資材等を積極 的な採用するよう、エ事施工計画作成時に前向きに検討します。
自然现	ー 環境を保全し、みどりを確保します。		
65	事前に事業計画地とその周辺の自然環境調査を行い、動植物の生息や生育環境に配慮します。	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	できる限り植生環境に配慮した植栽計画とします。
66	地域のシンボルとなっていた大きな樹木は、できるだけ伐採を避け、既存の植生や地形を活かして設計します。		現在更地の為、既存樹木等はありません。
67	既存の植生や地形を改変する場合は、移植などにより既存の植生の保全を図るとともに、表土は適切に保管し、植栽などに利用します。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない ☑ 該当なし	現在更地の為、既存の樹木等はありません。
68	事業計画地に隣接する緑地などがある場合に は、緑地などを連続させて配置するなど、生物 の生息空間の保全に努めます。	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	できる限り緑地などを連続させて配置するなど、生物の生息空間の保 全に努めます。
69	駐車場の緑化を行います。		駐車場の緑化については、事業収支上、採用が不可能である為、実施 しません。
70	屋上緑化、壁面緑化、ベランダ緑化などを行います。	□ 実施する □ 一部実施する☑ 実施しない □ 該当なし	屋上緑化、壁面緑化、ベランダ緑化については、事業収支上、採用が 不可能である為、実施しません。

	取 組 事 項		実 施 内 容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しな い及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
71	開発により生じた法面に対して緑化を行いま す。	□ 実施しない □ 該当なし	開発により生じた法面が発生した場合は緑化を行います。
72	植栽樹種は、地域の環境に合わせた樹種を選 定します。	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	植栽樹種は、地域の環境に合わせた樹種を選定します。
水循環	を確保します。		
73	雨水を利用する設備(雨水タンク、散水設備など)を導入し、水資源を有効に利用します。	□ 実施する □ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	事業収支上、採用が不可能である為、実施致しません。
74	事業区域の面積に応じて、雨水流出を抑制す るために、雨水貯留型施設又は雨水浸透施設 等を設置します。	☑ 実施する □ 一部実施する□ 実施しない □ 該当なし	事業区域面積に応じた、雨水貯留型施設等を設置致します。
	オープンスペース、駐車場などについては雨 水浸透に配慮し、浸透性のある舗装などの採 用を検討します。		雨水浸透に配慮し、敷地東側のオープンスペースは、地被類や砂利敷 きなどを採用する予定になっています。
地域σ	生活環境を保全します。		
大気·	騒音·振動等	<u> </u>	
76	空調機などの騒音を発生させる設備の設置に おいては、低騒音型機器の採用、壁などの遮 音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音 や振動対策を行います。		空調機などの騒音を発生させる設備の設置においては、低騒音型機 器の採用、壁などの遮音性の確保、設置場所に配慮するなど、騒音や 振動対策を行います。
77	近くに幹線道路や鉄道があり騒音の影響が考えられる場合には、予め窓などに防音サッシを 設置します。	□ 実施する ☑ 一部実施する □ 実施しない □ 該当なし	該当する施設がありませんが、影響がある場合は検討配慮致します。
78	周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の配置は住居に隣接しない計画とします。		周辺環境への自動車の排気ガスや騒音を防止するため、駐車場の配 置は住居に隣接しない計画とします。
	近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、 換気扇、排気口、廃棄物置場の位置などに配 慮します。		近隣への悪臭、騒音などを防止するため、窓、換気扇、排気口、廃棄 物置場の位置などに配慮します。
	ボイラー、タービン、エンジンなどの機器を設置 する場合は、万全の排出ガス対策を行いま す。		ボイラー等は、設置致しません。
81	屋外照明や広告照明については、近隣住民に 対する光の影響を抑制します。		屋外照明や広告照明については、近隣住民に対する光の影響を抑制 します。
	建築資材(ガラス、太陽光パネルなど)による 太陽の反射光については、設置の際に光の影響を考慮します。		建築資材(ガラス、太陽光パネルなど)による太陽の反射光について は、設置の際に光の影響を考慮します。
83	塗料は、水性塗料や揮発性有機化合物(VOC)の含有率が低いものを使用します。		塗料は、水性塗料又は揮発性有機化合物(VOC)の含有率が 低いものを使用するよう、工事施工計画作成時に検討します。
	周辺に教育施設、福祉施設や医療施設がある 場合は、騒音、振動、通風、採光などに特段の 配慮をします。		計画地周辺に諸施設はありません。
中高層	聲建築物(高さ10メートルを超える建築物)		
	日照障害については、建築基準法の日影規制 対象外地域(商業と工業地域を除く)を含めた 地域についての日影図を作成し、発生する範 脚を事前に把握し、近隣住民に説明するととも に、できる限りその軽減をします。	☑ 実施する □ 一部実施する	建日照阻害・電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査や机上 計算等により事前に把握し近隣住民に説明しました。
	電波障害の発生が想定される範囲を、現地調査、机上計算、影響範囲図作成などにより事前に把握し、近隣住民に説明します。		「吹田市中高層建築物の建築に係る紛争の調整に関する条例」に 基づく範囲について、日影図を作成し市及び住民に説明しました。

	取組事項			実施	Ø	有	無 	実施内容 (実施、一部実施する場合は、その内容及び方法、実施しない及び該当なしの場合は理由を記入してください。)
87	電波障害が生じた場合は、CATV、共同受信 施設などによる改善対策を行います。		実施	施する 実施しない			部実施する	電波障害が生じた場合には、共同受信装置の設置などの対策を講じました。
88	近隣住民のプライバシーを侵害するおそれが ある場合は、適切な対策を講じるよう努めま す。			施する			部実施する該当なし	近隣住民のプライバシーを侵害するおそれがあるため、適切な対策を 講じるように努めます。
景観ま	ちづくりに貢献します。							
89	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域に調和したものとなるよう配慮します。			施する			都実施する	本市の自然条件や風土、歴史の流れの中で培われた地域の個性を尊重し、地域の景観に与える違和感や雑然さを軽減するように努め、色彩に配慮し、地域全体として調和のとれたものとなるよう配慮します。
				実施しなし	_ '		該当なし	
90	景観資源の質の向上と地域特性を活かしたまちづくりに資するよう、「景観まちづくり計画」の類型別景観まちづくり計画と地域別景観まちづくり計画の目標と方針に基づいた計画と設計を	5	実	施する			部実施する	吹田市と協議を行い、類型別景観まちづくり計画(暮らしの景観) の目標と方針に基づき、色彩に配慮した計画・設計を行います。
	行います。			実施しなし	- -		該当なし	
91	景観形成に関わるガイドラインや方針を有する エリアではガイドラインなどに配慮した計画と 設計を行います。			施する			部実施する	ガイドライン・色彩に配慮した計画とします。
		_		実施しなし 		Ш	該当なし	
92	計画区域や建設敷地がおおむね1haを超えるときは、景観形成地区の指定について協議します。			施する			部実施する	計画敷地面積は1ha未満の為、対象外となります。
				実施しなし		✓	該当なし	
93	景観形成基準を遵守し、景観まちづくりを推進します。			施する			部実施する	事業内容に応じ、景観誘導基準・屋外広告物の表示に関する基準に 基づき、色彩に配慮した景観まちづくりに景観します。
				実施しなし	,\ -		該当なし	
94	屋外広告物の表示等に関する基準を遵守し、 景観まちづくりを推進します。	V	実想	施する			部実施する	事業内容に応じ、景観誘導基準・屋外広告物の表示に関する基準に 基づき、色彩に配慮した景観まちづくりに景観します。
				実施しなし 	۱,		該当なし	
安心多	そ全のまちづくりに貢献します。							
95	周辺状況に応じ、計画地内において、歩行者	V	実	施する		_	部実施する	周辺状況に応じ、計画地内において、歩行者が安全に通行できる空間
	が安全に通行できる空間を整備します。			実施しない	()		該当なし	を整備します。
96	災害時の防災対策や緊急時に対応できる設備 機器を積極的に導入し、安心安全に配慮した		実	施する	- V	-	部実施する	共用部にAED(自動体外式除細動器)を設置致します。
	適切な整備を行います。			実施しない	۱,		該当なし	
97	防犯対策などに対応できる設備機器を積極的 に導入し、安心安全に配慮した適切な整備を	V	実	施する		-	部実施する	防犯カメラ等、防犯対策等に対応出来る設備機器の積極的な導入、安 心安全に配慮した適切な整備を検討します。
	行います。			実施しない	L `		該当なし	プス・サード (では) (では) (では) (でき) (でき) (でき) (でき) (でき) (でき) (でき) (でき

